

日本科学者会議東京支部主催

第19回東京科学シンポジウム

テーマ 理性と希望の平和な時代を拓く

— 反知性主義・分断・不公正とたたかう —

12月9日(土)～10日(日)

会場 中央大学多摩キャンパス

詳しくは、裏面をご覧ください



第16分科会 12月10日(日) 10時～12時15分 (3201教室)

IT技術と教育・労働・社会生活

社会のすみずみまでコンピュータが導入され、個人生活でも携帯・スマホ、パソコン、インターネット、カードなどの利用が広く広がっています。IT技術(情報化)の導入で便利になる、効率が上がると強調される一方で、ネット犯罪や監視社会、長時間・過密労働、災害や故障による社会の混乱など多くの問題が顕在化しています。

今回は、昨年から使用が始まったマイナンバー(個人番号)について、その現状と問題点をとりあげ、IT技術の発達とその社会への導入のあり方を考えます。



報告テーマと報告者

- ・ 個人番号制度(マイナンバー)の現状と問題点
長谷川 元彦 (第一経理 埼玉事務所長 税理士)
- ・ マイナンバー利用の現状と問題点 —武蔵野市の場合
橋本 しげき (日本共産党武蔵野市議会議員)
- ・ マイナンバーとビッグデータ 政府の成長戦略を問う
酒井 士朗 (武蔵野通研分会)

多彩な企画でみなさまのご参加をお待ちしています

特別報告 12月9日(土) 13:00～17:00 (3351教室)

1. 世界史のなかの「いま」を生きる—中東・世界・日本のゆくえと「平和憲法革命」の課題—
栗田禎子(千葉大学大学院人文科学研究教授、歴史学・中東研究)
2. 自衛隊加憲論と政府解釈—平和で公正な社会を考える—
浦田一郎(一橋大学名誉教授、憲法学)

参加費(予稿集代込み)
2000円(一般)
1000円(院生・学生)

詳しくは 日本科学者会議東京支部まで
☎ 03-3811-8281
ホームページ(JSA東京支部で検索)

— 23の分科会で発表と討論 —

- 1: 国連平和への権利宣言とわたしたち
- 2: リニア中央新幹線問題の検討と運動・経験交流
- 3: 原発問題を考える文学サロン
- 4: 院生・若手小さな冬の学校
- 5: パリ協定とエネルギー基本計画
- 6: 首都圏の防災・減災を考える
- 7: 「復興」を考える
- 8: 核兵器禁止条約の意義と今後の課題—市民社会の役割に焦点をあてて
- 9: 次世代につなぐ平和と女性研究者・技術者
- 10: 科学・技術の現状批判—日本の科学技術の健全な発展のための課題
- 11: 軍学共同への抵抗の現段階とこれから—日本学術会議の新声明を受けて—
- 12: 「安倍改憲」、その本質・波及追究と改憲阻止運動の課題
- 13: 科学・技術サロン—日本の科学・技術の現状とロマンを語る
- 14: 支部活動の拡大強化・活動活性化のために
～日本科学者会議 50年の歴史から教訓を求めて～
- 15: サイバー空間の平和利用のために
- 16: IT技術と教育・労働・社会生活
- 17: 暴走する安倍教育行政ストップ、憲法を基本にした教育再生を!
- 18: 築地市場の豊洲移転 築地市場存続の意義と豊洲市場移転のデメリット
- 19: 国民生活向上の経済運営はいかにあるべきか
- 20: 非正規雇用問題を考える
- 21: 暴走する大学「改革」の諸問題
- 22: 若手活動の取り組みから見る支部活動
—JSA 内外の交流をいっそうの活性化へ—
- 23: トランプ政権とアメリカ社会

会場へのアクセス



主要駅からのアクセス

- 多摩モノレール「中央大学・明星大学駅」から徒歩1分
- 京王線「多摩動物公園駅」から徒歩10分
- 小田急・京王線「多摩センター駅」下車。バス(13番バス停)で12分
- JR「豊田駅」下車、バス(4番バス停)で15分

その他 ポスターセッションと展示コーナー
(両日開設)